

2024 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [天童市立干布小学校] 担当教諭名 [矢口 雅士] (6年1組 20名)
 相手国・地域 [台湾]
 海外学校名 [Wen Ya Elementary School] 担当教諭名 [Ruth Hou]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	福祉で世界とつながろう	30
	総合的な学習の時間	学習発表会にむけて	

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Bonds of Friendship
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	肌の色、国、文化、それぞれの国境を越えてみんな手と手を取り、ともに協力していく大切さをこの絵から伝えたい。学校のオリジナルキャラクターや地域の名産物、調べ学習でまとめた成果を随所にちりばめ、SDGsについても取り組んだ証を残した。



■今回の取組の成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
これまで国際交流を目的にすることがなかった児童が、このプロジェクトを通し、今この瞬間に同じ課題を共有し、一緒に学習に取り組んでいることを実感することができた。絵画というものを通して、相手校から届いたときのわくわく感、児童の心に感動が生まれた。	プロジェクトを通し、具体的な交流の中身をしっかりと吟味しておく必要があった。時間の目安や質問事項を事前にプレゼンテーションの準備をした方がより自分事として捉えられる児童が増えたのではと思う。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
今この瞬間に世界で同世代の友達と同じように生活していることを実感できた。台湾という国に興味を持ち、どんな国なのかを自主的に調べたり、学習発表会で全校児童や保護者の前で中間報告をしたりするなど、意欲的に取り組もうとする児童が増えた。	普段目にする事のない現地校の様子を、ウェブ上でのやりとりを通して、知ることができた。5時半で閉庁するという実態を聞き、働き方改革という面では日本より先進的であると実感した。また、自分の英語力を見つめ直すきっかけにもなった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	5月 6月	<ul style="list-style-type: none"> 台湾についてインターネットを使って調べた。 自己紹介を英語で書いた。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞いたことはある国だけど、実際はどんな国なのか興味を持った。 フォーラムを見て台湾の小学生の日課を見て興味を持った。 	総合 外国語
共有 相手と意見交換	7月	<ul style="list-style-type: none"> SDGsに取り組む中で、福祉の観点を選んだ。 台湾との交流で、日本との違いで聞いてみたいことをまとめた。 	<ul style="list-style-type: none"> 台湾との交流や学習発表会に向けての見通しが持てた。 救急車って日本じゃ無料だけど、台湾もそうなのかな。 	総合
融合 メッセージ作成	9月 ～ 11月	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活性化に向けて、太鼓の披露をしたことを報告した。 それぞれがSDGsの取り組みから課題を選択し、調べ学習を進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 太鼓をやって地域の人も喜んでくれて台湾の子も興味を持ってくれた事に達成感があった。 	総合
創造 壁画制作	12月 ～ 2月	<ul style="list-style-type: none"> それぞれが追究した成果や、相手校との絆を深める作品になるように個人で絵を描き、それぞれをつないで1枚の作品にした。 	<ul style="list-style-type: none"> どんな作品ができるか楽しみだな。 相手校のキャラクターはどんな名前なのかな。 	総合
評価 振り返り 自己評価	3月	<ul style="list-style-type: none"> 完成画を見ての振り返り 一年間の活動を振り返っての個人の振り返り 校内掲示 	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流ができてよかった。 太鼓の良さを世界中に広げたいな。 	総合

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化を理解する力	4	調べ学習を通して、外国をより身近に感じられるようになった。絵画という「作品」を通して、自分たちが地球に住む一員だと実感することができた。
主体的に考え行動する力	4	交流に対して、前向きに取り組もうとする児童が増えた。アイデアや絵の構図を率先して決める児童がたくさんいた。
批判的に思考する力 （客観的・論理的視点）	4	作品ややりとりの中で、相手文化へ興味を持つことや、個人追究でそれぞれの課題を、学級内や相手校で共有する中で、課題解決へ自分なりの考えを持つことができた。
多様な他者と対話・協働する力 （海外の相手と対話・協働）	4	単学級で外国語の授業で必然性を感じる事が少なかった児童が、実際に自分たちが身に付けた英語が通じることに達成感を得ることができた。
想いを表現する力 （メッセージ作成・壁画制作）	4	表現を通して、相手の文化への配慮など、視野を広げることができた。